

経営比較分析表（令和3年度決算）

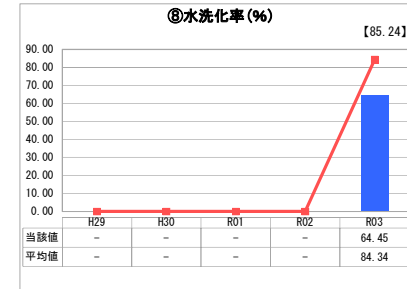
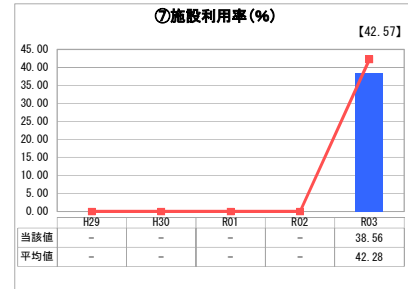
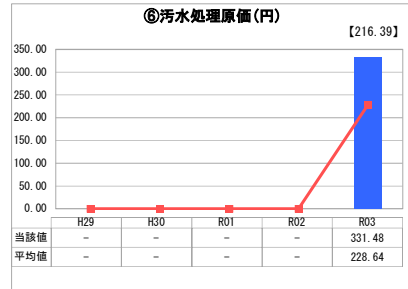
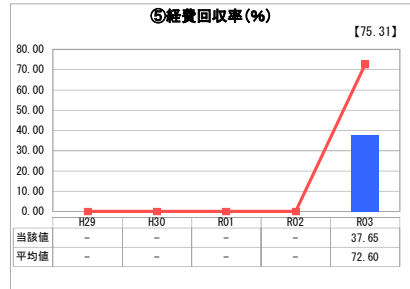
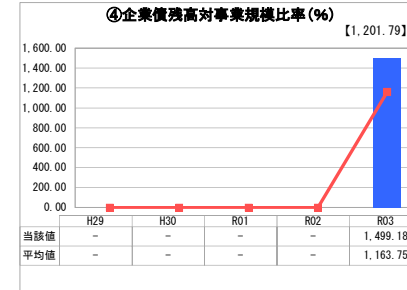
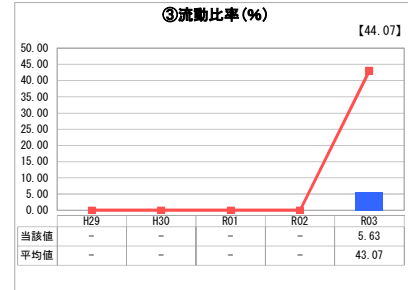
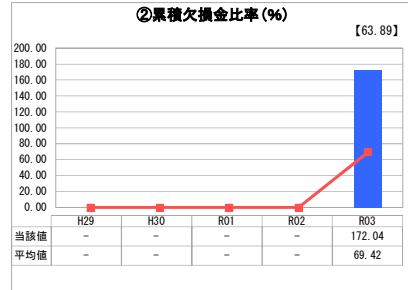
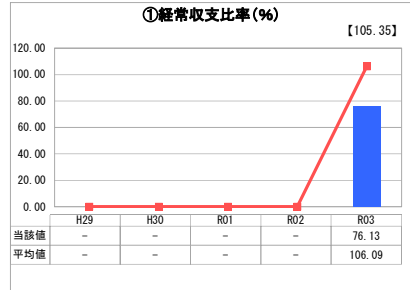
熊本県 南関町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金 (円)
-	75.78	26.26	100.00	3,520

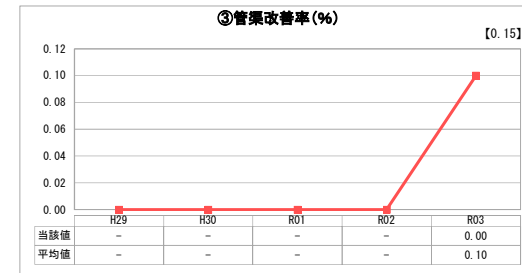
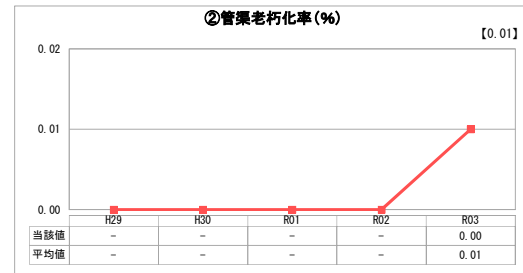
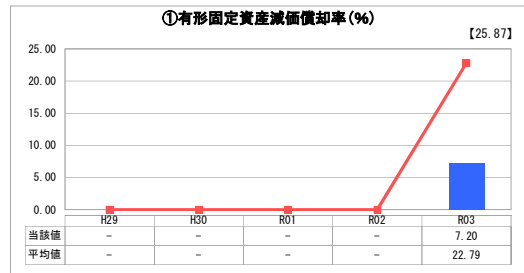
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
9,201	68.92	133.50
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
2,391	1.11	2,154.05

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
□ 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率、③流動比率、⑤経費回収率、⑧水洗化率については、類似団体平均を大きく下回っているが、②累積欠損金比率、④企業債残高対事業規模比率、⑥汚水処理原価は大きく上回っている。

令和3年度下水道加入状況
 処理区域内人口 2,391人
 下水道普及人口 1,541人 普及率64.5%

(今後の対策)
 令和2年度に経営戦略の策定を行った。
 下水道接続への加入促進を行い、令和4年度から上下水道審議会にて料金改定について協議を行う。維持管理についても見直しを行い、経費の削減に努める。

2. 老朽化の状況について

平成14年4月に供用を開始し、19年経過をしている。令和元年度に下水道施設ストックマネジメント計画を策定しており、令和4年度に電気設備の詳細設計、令和5年度より改築更新工事を予定している。

全体総括

下水道処理区域の面整備については完了しているが、今後は老朽化対策費用の増加が見込まれる。適切な維持管理を行いながら、中長期的な施設の更新を行っていくよう努める。
 今後の経営については、策定した経営戦略に基づき、加入促進や料金改定等を検討し、また維持管理費用についても経費の削減に努めることで健全な経営を目指し、安全で安定した事業の継続に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。